

ユーザガイド

バリーラブ Exchange

ソフトウェア更新システム

 ValleylabTM



目次

第1章	はじめに
第2章	Service Agent のインストール
第3章	ForceTriad ソフトウェアの更新
第4章	トラブルシューティング

Valleylab (バリーラブ)
a division of Tyco Healthcare Group LP
Boulder, Colorado 80301-3299 USA

©2007 Valleylab All rights reserved.

1007992

tyco
Healthcare



ユーザガイド

バリーラブ Exchange

ソフトウェア更新システム

本書の対象ソフトウェア

バリーラブ Exchange リモートソフトウェア更新システム

文書番号 1007992

発効日 2007年 8月

注

本書のいかなる部分も、バリーラブからの書面による同意を得ることなく、電子的であれ、機械的であれ、写真複写であれ、録音であれ、その他いかなる形態であれ、またはいかなる方法であれ、複製、検索システムへの保存または送信ができないものとします。本書の追加コピーは、バリーラブからご注文いただけます。

商標について

本書に記載の商標はすべて Tyco Healthcare Group LP およびその関連会社の商標です。

タイコヘルスケアジャパン株式会社



〒158-8615 東京都世田谷区用賀4-10-2 お問い合わせ先 バリーラブ営業部：
0120-09-2330 テクニカルサポート : 0120-07-3008

米国印刷

©2007 Valleylab 無断複写・転載を禁じます。

配布元

バリーラブ (タイコヘルスケアグループ LP の 1 部門)
Boulder, Colorado 80301-3299 USA

製造販売元:

1-303-530-2300

インターネットアドレス

<http://www.valleylab.com>

ソフトウェア使用許諾契約書

Covidien AG、タイコヘルスケアグループ LP およびその系列会社であるバリーラブ（「Covidien AG」と総称します）は、製品にインストール可能であるとして顧客に対し提供された、または個別に提供されたあらゆるコンピュータプログラムおよびそのすべての部分ならびに関連書類（「ソフトウェア」と総称します）に対するすべての権利、所有権および利益の所有者であり、これに基づきライセンスを許諾する独占権を有しています。

顧客がソフトウェアを組み込んだ本製品に対し支払った代金には、その代金の一部として、顧客に本使用許諾契約書に定める権利のみを許諾するライセンス手数料が含まれています。顧客は、さらに、ソフトウェアはCovidien AGの専有であることを認識し、これに同意しています。本ソフトウェアは、1台のコンピュータ機器のみにインストールされ、使用されることが許諾され、本ソフトウェアがインストールされているコンピュータ機器ごとに有効なライセンスを購入する必要があります。

単一ユーザ使用許諾：Covidien AGは顧客に対し、もっぱら本製品の配達先として顧客が指定した顧客の事務所における本ソフトウェアの使用を目的として、顧客が所有またはリースしている単一の中央演算処理装置またはその他Covidien AGが提供した装置内に組み込まれた中央演算処理装置で、機械可読オブジェクトコード形式のみで、購入その他によりSSAFより提供された医療装置の操作における顧客の内部事業目的のみを目的として、制限された、非独占、サブライセンス付与不能、譲渡不能かつ取り消し可能なライセンス（顧客が本使用許諾書に違反しない限り）を許諾します。

本ソフトウェア使用許諾契約または法律により明示的に承認される範囲を除き、顧客は、以下を行えない、または第三者に以下を行わせることができないものとします。(i) 本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブルまたはリバースエンジニアリングすること、(ii) 本ソフトウェアを変更することもしくは本ソフトウェアに基づいて派生著作物を作成すること（翻訳、変換、改作またはその他改変または変造版を含みますがこれに限定されません）またはいかなる方法であれ本ソフトウェアを変造すること、(iii) 本ソフトウェアを、Covidien AGが供給していない何らかの他のソフトウェアまたは製品と統合すること、(iv) 本契約書で明示的に承認されているものを除き、本ソフトウェアを使用、複製、販売、サブライセンス付与、リース、賃貸、貸付、割当、譲渡またはその他受け渡すこと、(v) いかなるフォーマットにおいても、タイムシェアリングサービス、サービス機関、ネットワークまたは他の何らかの方法を経由して、第三者に対しましては第三者により本ソフトウェアを配布、開示または使用を許可すること、(vi) 顧客に対して供給されたソフトウェアに最初に存在している著作権表示、機密表示または登録商標権表示、キャプションまたは制限を削除または変更すること、(vii) Covidien AGの極秘情報に関する何らかの義務に違反すること。適用可能な強行法規により顧客が前記の行為のうちのいずれかを行うことを明示的に許容されている範囲で、顧客は、当該権利のうちのいずれかを行なうという顧客の意志を書面により30日前までにCovidien AGに通知するまで、こういった権利を行わないものとします。ただし、管轄権を有する政府機関の命令により、そういった行為が許可されない場合は別とします。

本ソフトウェア使用許諾契約書で明示的に許諾されている制限付き使用許諾権を除き、Covidien AGは、本ソフトウェアおよびその修正版ならびにあらゆる所有権、知的所有権およびあらゆる他の権利ならびに利益を

含むがこれに制限されないその派生物に対するあらゆる権利を保有しています。顧客は、もしあれば、本ソフトウェアが保存されているか、または処理されているハードウェアまたは物理媒体のみを所有します。

顧客は、当該プログラムが著作権で保護されているかどうかもしくは著作権保護が可能であるかどうか、または特許を受けているかどうかもしくは特許を受けることができるかどうかにかかわらず、個々のプログラムの特定の設計および構造を含むソフトウェアが、Covidien AGの極秘情報および取引の秘密を構成していることに同意します。顧客は、機密情報、取引の秘密、または著作権のある資料をどのような形態であれ第三者に開示、提供その他利用できるようにしないことに同意します。顧客は、本ソフトウェアを知る必要があり、本ソフトウェア使用許諾契約書に含まれるあらゆるライセンス制限に従う義務および本ソフトウェアおよび他の機密情報すべての機密を守る義務のある従業員、契約者、コンサルタントのみが本ソフトウェアを使用できるようにすることに同意します。顧客は、あらゆるユーザにこの義務を順守させる責任を負います。

顧客は、適宜、Covidien AGが本ソフトウェアに特定の機能、改良、修正を取り入れるよう要求できます。Covidien AGは、自己の裁量で、当該変更を取り入れ、全部または任意のCovidien AGの顧客に対し修正済みの本ソフトウェアを配布することができます。このようなエラー修正、バグ修正、パッチ、更新またはその他の修正はすべてCovidien AG独自の財産とします。

本使用許諾は本契約が終了するまで有効です。顧客は、何らかの資料を含むソフトウェアの全コピーを廃棄することにより、随時、本使用許諾契約を終了できます。顧客が本使用許諾契約または供給業者契約のいずれかの条項に従わない場合、本使用許諾契約は、Covidien AGからの通知により即座に終了します。合理的に詳細を説明した書面による矯正の要求を受領してから30営業日以内に、顧客がライセンスの制限または規制の違反をすべて矯正しない場合、Covidien AGは、書面による通知をすることにより、即時発効にて、本契約書で許諾された本使用許諾契約を終了し、あらゆる利用可能な権力を行使できます。この終了に際して、顧客は即座にあらゆる明白な未払いの手数料を支払い、全ソフトウェアの使用を停止し、Covidien AGの求めに応じ、顧客が所有しているソフトウェアの全コピーを返却または廃棄し、書面によりCovidien AGに対し本項記載の義務をすべて順守することを保証します。

限定保証：Covidien AGは、顧客に対し、実質上出荷の日から90日間、本ソフトウェアが当該ソフトウェアについての現在の資料に記載されている通りに機能すること、および本ソフトウェアには、未知のウィルス、コード、本ソフトウェアを自動的にまたはコマンドに基づいて不能にするコマンドが一切含まれていないことを表明し保証します。保証期間中は、Covidien AGに対し不具合をご通知いただければ、Covidien AGは、自身の選択で、本ソフトウェアを交換するかまたは、購入代金を返金します。本保証の違反に対する救済は、交換または返金に限定されるものとし、他のいかなる損害をも網羅するものではありません。Covidien AGのディーラー、販売業者、代理店、従業員は、上記保証および救済を修正または追加する権限を一切与えられていません。

本保証条項にかかわらず、当該保証に関するCovidien AGのすべての義務は、顧客が本契約に従い、かつ資料でCovidien AGが提供したCovidien AGの指示に従って本ソフトウェアを使用していることを条件とするものとし、当該指示はCovidien AGが適宜修正、補完、変更します。Covidien AGは、事故、誤用、不正使用、極端な電力サージ、極端な電磁場に起因するソフトウェアの不具合に関する保証の義務は一

切負わないものとします。

本保証は、以下に起因する、損害、誤動作、不具合には適用されません。

(i) 顧客による本契約書の下に許諾された使用許諾に違反した、または資料に反する方法での本ソフトウェアの使用、(ii) Covidien AG の支給ではない機器、ソフトウェアまたは施設での製品の使用、(iii) 顧客が Covidien AG のインストール、操作、修理またはメンテナンス指示に従わないこと、(iii) 顧客が Covidien AG に時宜を得た製品へのアクセス、リモート、その他の許可を与えないこと、(v) 本契約に基づき提供されたソフトウェアに対する新規更新をすべて実行しないこと、(vi) 元の製造業者のシリアルナンバーが変更されたり、書き換えられたり、削除されたりした製品、(vii) Covidien AG 以外の当事者により修正、サービスまたは変更された製品、または (viii) 異常な物理的または電気的ストレスを受けた、顧客またはサードパーティーにより誤用、過失、事故の被害を受けたソフトウェア。

免責条項：本保証に定める場合を除き、商品性、特定目的との適合性、または取引過程・利用・商慣習から生じる黙示保証を含むがこれに限定されないあらゆる明示または黙示の条件、表明および保証は、本契約によって、適用される法律によって許容される範囲で除外されるものとします。

いかなる場合も、いずれの当事者も、第三者請求を除き、当該当事者が損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本契約から生じる責任の理論に起因しようとこれに関係なく、収益、利益またはデータのいかなる損失についても、または特定の、間接的、結果的、偶発的または懲罰的損害賠償に関して責任を負いません。いかなる場合においても、一方当事者の他方当事者に対する責任は、契約であれ、不法行為（過失を含む）であれ、またはその他であれ、顧客が支払うまたはすでに支払った代金を超えないものとします。前述の制限は、たとえ上記の保証がその本質的な目的を達成できない場合でも適用されるものとします。国によっては、結果的または偶発的な損害に対する責任の制限または除外を許容しない国もあります。

本契約書のいずれかの条項が管轄権を有する裁判所により不法、無効、または法的効力がないとされる場合でも、残りの条項は効力を有するものとします。

本使用許諾契約書には、本ソフトウェアに関する当事者間の完全な了解事項および合意が含まれます。本契約書は、各当事者の正式代表者の署名のある法律文書によるものを除き、補完、変更、修正、公表、免責できないものとします。本契約書内のキャプションおよび見出しは、すべて、便宜のみを目的とするものであって、本契約書のいずれの条項の解釈にも影響を与えないものとします。本契約の不履行または違反に対する他方当事者による何らかの権利放棄は、本契約書のあらゆる条項またはその後の同種または異なる種類の不履行または違反に対する権利放棄を構成するものではないものとします。

本契約書の解釈および履行は、法原則の選択を問わずコロラド州法に準拠します。本契約書の両当事者は、コロラド州の管轄権を有する裁判所に従います。



はじめに

本章では、バリーラブ Exchange Service Agent ソフトウェアのインストールと使用について説明しています。ForceTriad エネルギープラットフォームは、いったん顧客のサービス PC にインストールされれば、バリーラブの Exchange サーバーからの遠隔更新が可能です。

バリーラブ Exchange Service Agent のソフトウェアは、基本的なコンピュータスキルと Microsoft Windows ベースの PC についての実用知識のある作業者がインストールおよび使用することを目的としています。

バリーラブ Exchange Service Agent

バリーラブ Exchange サーバーから ForceTriad ソフトウェアの更新を直接入手するには、顧客の PC にバリーラブ Exchange Service Agent ソフトウェアをインストールする必要があります。オンラインから更新を入手すると、バリーラブにジェネレータを返送する必要がなくなるのでソフトウェア更新のプロセスが簡単になります。

バリーラブ Exchange はリモートサービスアプリケーションのリーディングプロバイダからのインテリジェントデバイス管理 (IDM) テクノロジーに基づいています。このソリューションは、世界中の病院、クリニック、研究所にリモートサービスを提供し、モニタリングしている医療装置および診断装置のリーディングメーカーで使用されています。

ForceTriad エネルギープラットフォームとバリーラブ Exchange サーバー間の通信は、バリーラブ Exchange Service Agent を実行している仲介サービス PC を経由したインターネットに設定されています。

ユーザは、サービス PC への新しいソフトウェアのインストールについて、社内方針または手順に加えて、施設の IT 部門に相談する必要があります。

サービス PC 要件

バリーラブ Exchange Service Agent ソフトウェアをインストールおよび操作するには、顧客が以下を所有している必要があります。

- Pentium III と同等あるいはそれ以上のプロセッサ搭載の IBM- 互換 PC
- 50 MB の空領域のある最低 20 GB ハードドライブ
- RS-232 シリアルポート
- Windows XP、2000 または NT
- インターネット接続

サービス PC とジェネレータを適切に操作するために必要な十分な作業スペース、適切な換気、十分な電源コンセントも必要です。

Service Agent のインストール

本章では、バリーラブ Exchange Service Agent ソフトウェアのインストールの段階的な手順を紹介しています。

バリーラブ Exchange Service Agent のソフトウェアは、基本的なコンピュータスキルと Microsoft Windows ベースの PC についての実用知識のある作業者がインストールおよび使用することを目的としています。

インストール

インストールに必要な情報の収集

バリーラブ Exchange Service Agent ソフトウェアのインストール時に、お客様の施設の接続およびネットワーク設定についての情報を提供するように促されます。インストールを開始する前に必要な情報を収集しておく、インストールの手順が簡単になります。

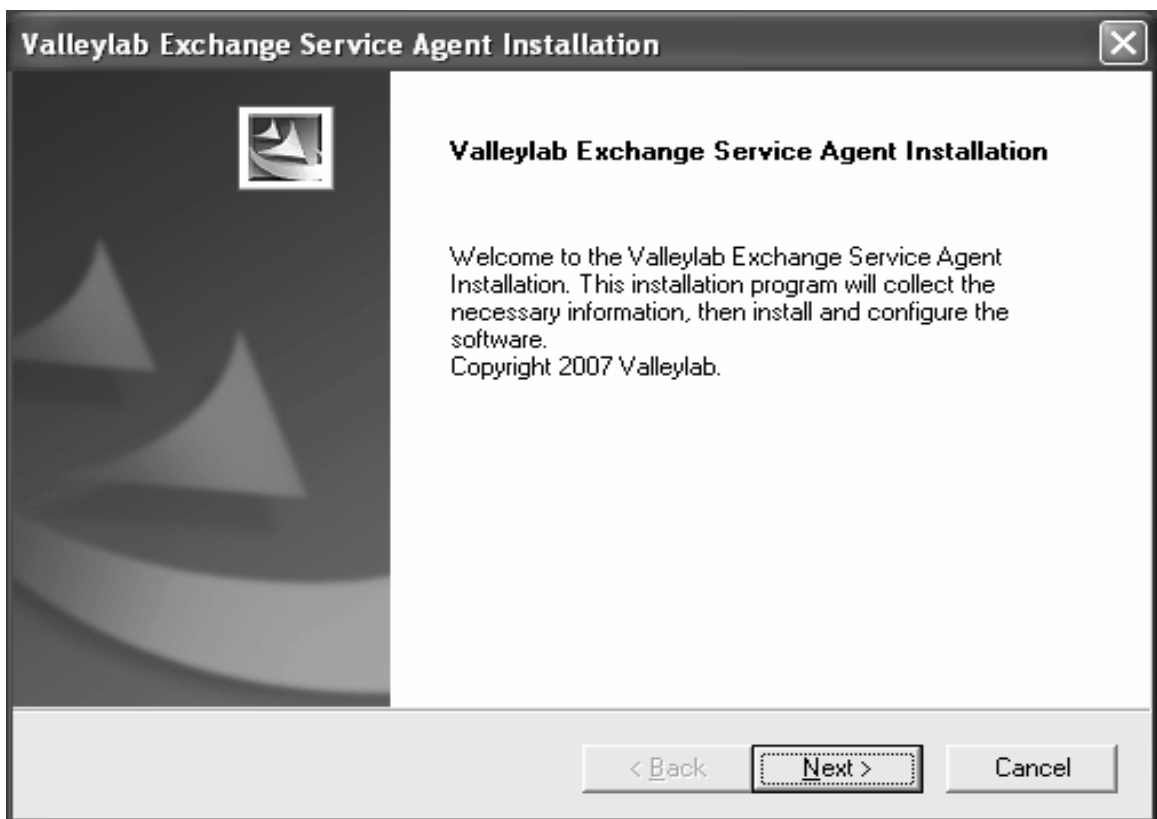
- お客様のコンピュータでは WinVNC を実行していますか。
はい ___
いいえ ___
VNC は、インターネットを経由してお客様のコンピュータにアクセスしている他のユーザが、リモートデスクトップ共有をできるようにするバーチャルネットワークコンピューティング (Virtual Network Computing) の頭字語です。バリーラブの技術者が、サポートサービスでアシストを行うために VNC を使用する可能性があります。現在インストールされている VNC アプリケーションを上書きすると、その操作に影響を与えます。
- お客様の施設のメールアドレス：
会社 _____
住所 _____
市 _____
都道府県 _____
郵便番号 _____
国 _____
- 新しく投稿された ForceTriad の更新通知を受領する連絡先の E メールアドレス：
臨床工学マネージャー _____
IT マネージャー _____
OR マネージャー _____
リスク管理 _____
資材管理 _____
- お客様のネットワークではプロキシサーバーを使用していますか。
プロキシサーバーが使用されているかどうかわからない場合は、Microsoft Explorer の設定をご確認ください。ツールメニュー インターネットオプション 接続タブ LAN 設定のボタンを順にクリックします。プロキシサーバーセクションで、使用されているプロキシサーバーの名前またはアドレスがアドレスフィールドに表示されます。
お客様のネットワークではプロキシサーバーを使用しますか。
はい ___
いいえ ___

ソフトウェアのインストール

重要

バリーラブ Exchange Service Agent ソフトウェアは、サービス PC にインストールする必要があります。サービス PC には、インターネット接続が必要です。

1. サービス PC として機能するコンピュータにログインします。ログインを実行中のユーザには、ソフトウェアをインストールして構成するのに十分な権限が必要です。
2. バリーラブ Exchange Service Agent インストール CD をコンピュータの CD ドライブに挿入します。
3. インストールが、自動的に開始されるはずですが、開始しない場合は、デスクトップのマイコンピュータアイコンをダブルクリックします。インストールディスクが入っている CD ドライブへのディレクトリを開き、SETUP.EXE (SETUP.EXE) をダブルクリックします。
4. バリーラブ Exchange Service Agent インストール画面が表示されれば、先へ進むために **Next** (次へ) を選択します。



Choose Destination Location (インストール先の選択)

バリーラブ Exchange Service Agent ファイルがインストールされるディレクトリを指定します。



5. デフォルトの場所を受け入れるかまたは代わりとなる場所を選択するために **Browse** (参照) をクリックします。希望のインストールディレクトリが表示されれば、**Next** (次へ) をクリックします。

機能の選択

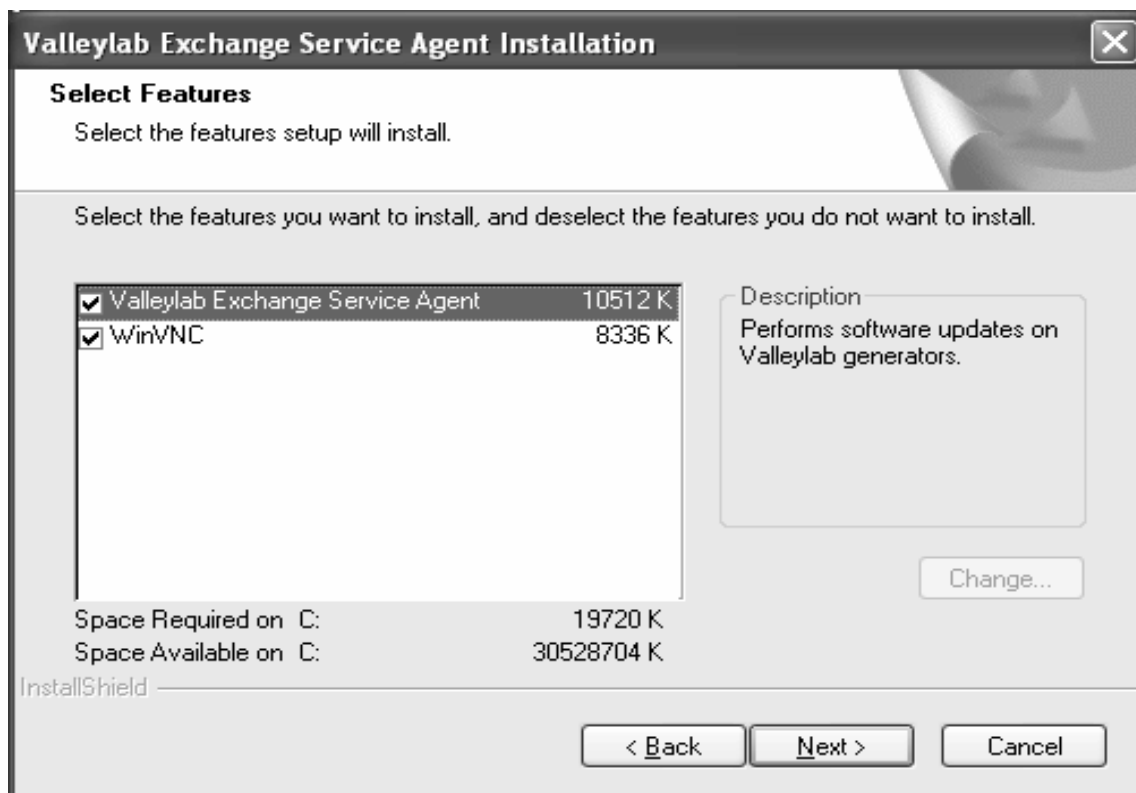
6. インストールするコンポーネントを選択します。両方のボックス、すなわち Valleylab Exchange Service Agent (バリーラブ Exchange Service Agent) と WinVNC がインストールのためにデフォルトによりチェックされます。

重要

バリーラブ Exchange Service Agent のインストールは必要です。このボックスのチェックを外さないようにしてください。

WinVNC は、バリーラブ Exchange Service Agent ソフトウェアの操作に必要ありません。WinVNC のインストールは任意です。このユーティリティーにより、必要に応じて、バリーラブの技術者がお客様のデスクトップをリモートアクセスできるようになるトラブルシューティング機能が加わります。

このユーティリティーがすでにサービス PC にインストールされている場合は、WinVNC をインストールしないでください。



WinVNC オプションをインストールしないを選択する場合は、WinVNC の左にあるボックスのチェックマークをはずします。

WinVNC のインストールを選択する場合は、2-21 ページに示されるようにバリーラブ Exchange インストールの最後に、サービス PC の再起動後に WinVNC 設定画面が表示されます。

重要

WinVNC をインストールする場合は、WinVNC オプションのインストールと使用について、お客様の IT 部門とご相談ください。

7. 先に進むには、**Next**(次へ) をクリックします。

顧客アドレス

- お客様の会社の情報を Customer Address (顧客アドレス) ダイアログボックスに入力し、プルダウンメニューから国を選択します。

重要

エントリーが必要なフィールドにはすべてアスタリスクマーク (*) が付いています。

The screenshot shows a dialog box titled "Valleylab Exchange Service Agent Installation" with a close button (X) in the top right corner. The main heading is "Customer Address" with the instruction "Enter the customer address details". Below this, it says "Specify the Customer Address:". The form contains several input fields, each with an asterisk (*) indicating it is required:

- Company: VLab
- Address1: 5920 Longbow
- Address2: (empty)
- Address3: (empty)
- City: Boulder
- State/Province: Co
- Zip/Postal Code: 80301
- Country abbrev/code: US UNITED STATES (dropdown menu)

At the bottom left, there is a note: "* is a required field". At the bottom right, there is an "Others:" label followed by an empty input field. The bottom of the dialog box features three buttons: "< Back", "Next >", and "Cancel". The "InstallShield" logo is visible in the bottom left corner of the dialog area.

- 先に進むには、**Next**(次へ)を選択します。

E メールアドレス

10. 窓口の E メールアドレスを入力します。ForceTriad エネルギープラットフォームで新しいソフトウェアが利用可能になれば、提供されたアドレスで通知を受信します。

重要

エントリーが必要なフィールドにはすべてアスタリスクマーク (*) が付いています。

Valleylab Exchange Service Agent Installation

Email Addresses
Enter the email addresses.

Provide email addresses so that you can be notified of available software updates

Clinical Engineering Manager email address * clinicaleng@abchospital.com

OR Manager email address * ormgr@abchospital.com

IT Manager email address itmangr@abchospital.com

Risk Management email address riskmgr@abchospital.com

Materials Management email address

Other email address

* is a required field

InstallShield

< Back Next > Cancel

11. 先に進むには、**Next** (次へ) を選択します。

プロキシサーバー

次の画面で、お客様の施設のプロキシサーバーを使用するかどうか尋ねられます。

バリーラブ Service Agent ソフトウェアは、プロキシサーバーで（利用可能な場合は）動作するように構成できます。インターネットを使用するエンタープライズすなわちバリーラブ Exchange などについては、プロキシサーバーはサービス PC とインターネットの間の中継サーバーとして作動します。プロキシのバッファにより、追加のセキュリティ、管理コントロール、ユーザには見えないままでのキャッシングが可能になります。

プロキシサーバーオプションの使用を選択すると、ブラウザまたは使用中の他のプロトコルプログラムに対する構成の際にプロキシの IP アドレスかサーバー名のどちらかの入力が必要になります。

重要

お客様のネットワークがプロキシサーバーをお使いならば、プロキシサーバー名を知ることは可能かもしれません。もしそうならば、プロキシサーバー名は Microsoft Internet Explorer 設定からのプロキシサーバー名です。参照から、ツールメニュー インターネットオプション 接続タブ LAN の設定ボタンを順にクリックします。プロキシサーバーセクションで、使用されているプロキシサーバーの名前またはアドレスがアドレスフィールドに表示されます。このボックスに表示されるものは何でも、プロキシサーバーダイアログボックスの IP アドレスフィールドにそっくりそのまま入力する必要があります。

バリーラブ Exchange Service Agent ソフトウェアが適切に機能するために、プロキシサーバーの使用は必要ありません。



12. お客様のインターネットで、プロキシサーバーを使用することを確認するには **Yes**（はい）、または使用しない場合は **No**（いいえ）をクリックします。
13. No（いいえ）を選択された場合は、2-11 ページの Start Copying（コピー開始）ウィンドウに進みます。

14. Yes(はい)を選択された場合は、プロキシサーバーが使用している IP アドレスとポート番号を入力する必要があります。数値アドレスがわからない場合は、IP Address(IP アドレス) フィールドにサーバー名を入力します。

Valleylab Exchange Service Agent Installation

Proxy Server
Provide Proxy server details. If unsure, please contact your IT department for questions about proxy server connections.

Please Provide Proxy Server Address and Port Information

IP Address : 216.71.63.111

Port : 80

Authentication Required for Proxy ?

Basic/Digest Authentication

NTLM Authentication Scheme

InstallShield

< Back Next > Cancel

サーバーの数値 IP アドレス

プロキシサーバーが使用しているポート番号を入力します

Valleylab Exchange Service Agent Installation

Proxy Server
Provide Proxy server details. If unsure, please contact your IT department for questions about proxy server connections.

Please Provide Proxy Server Address and Port Information

IP Address : myproxyserver

Port : 80

Authentication Required for Proxy ?

Basic/Digest Authentication

NTLM Authentication Scheme

InstallShield

< Back Next > Cancel

サーバー名はこのフィールドでも使用可能です

プロキシサーバーが使用しているポート番号を入力します

15. プロキシサーバーのために認証が必要な場合は、Authentication Required for Proxy(プロキシに認証を求めますか)の隣のボックスにチェックマークを入れてください。

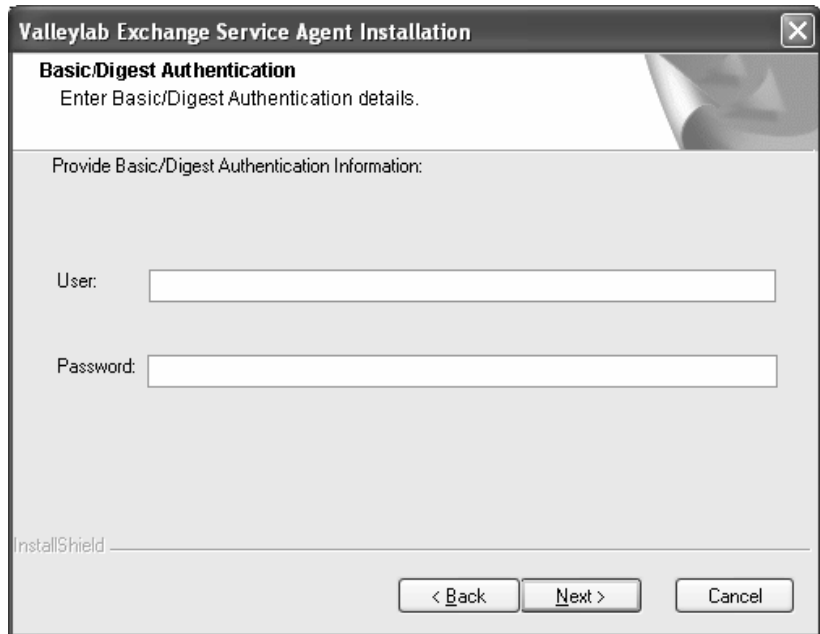
認証を選択すると以下の2つのオプションがアクティブ化されます。

- ・ Basic/Digest Authentication(基本・ダイジェスト認証)
- ・ NTLM Authentication Scheme(NTLM 認証スキーム)

16. プロキシ情報およびオプションをすべて入力したら、Next(次へ)を選択します。

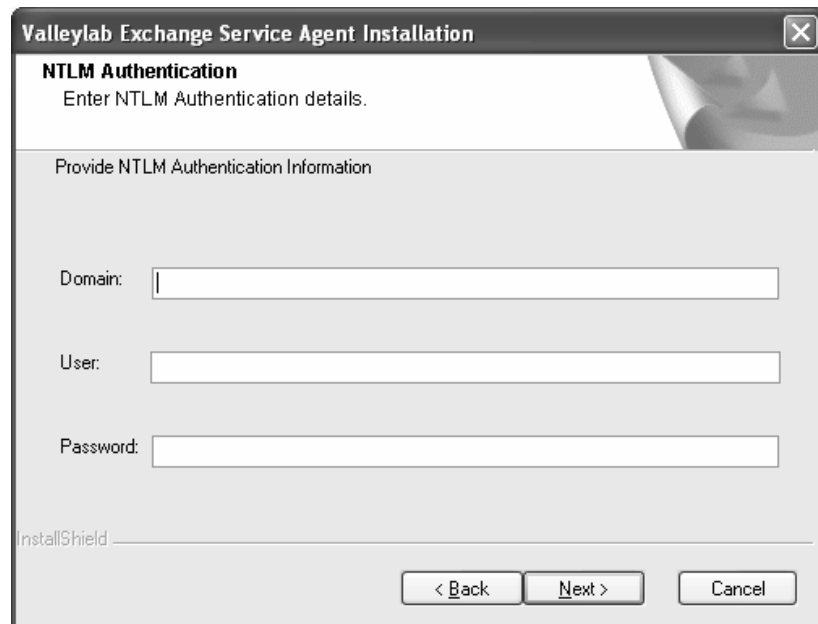
Authentication (認証)

17. Authorization Required for Proxy (プロキシに認証を求めますか) を選択された場合は、選択されたオプションにより、構成ダイアログボックスが表示されます。
- a. **Basic/Digest Authentication** (基本・ダイジェスト認証): このオプションが選択された場合は、認証に必要な user (ユーザ) 名と password (パスワード) を入力します。情報を入力して **Next** (次へ) をクリックします。2-12 ページの Start Copying Files (ファイルコピーの開始) まで進みます。



The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "Valleylab Exchange Service Agent Installation". The main heading is "Basic/Digest Authentication" with the instruction "Enter Basic/Digest Authentication details." Below this, it says "Provide Basic/Digest Authentication Information:". There are two input fields: "User:" and "Password:". At the bottom, there are three buttons: "< Back", "Next >", and "Cancel". The "InstallShield" logo is visible in the bottom left corner of the dialog area.

- b. **NTLM Authentication** (NTLM 認証): NTLM によりチャレンジ・レスポンス認証メカニズムがご使用いただけます。NTLM Authentication Scheme (NTLM 認証スキーム) を選択すると、domain (ドメイン) 名、user (ユーザ) 名および password (パスワード) が必要になります。情報を入力して **Next** (次へ) をクリックします。



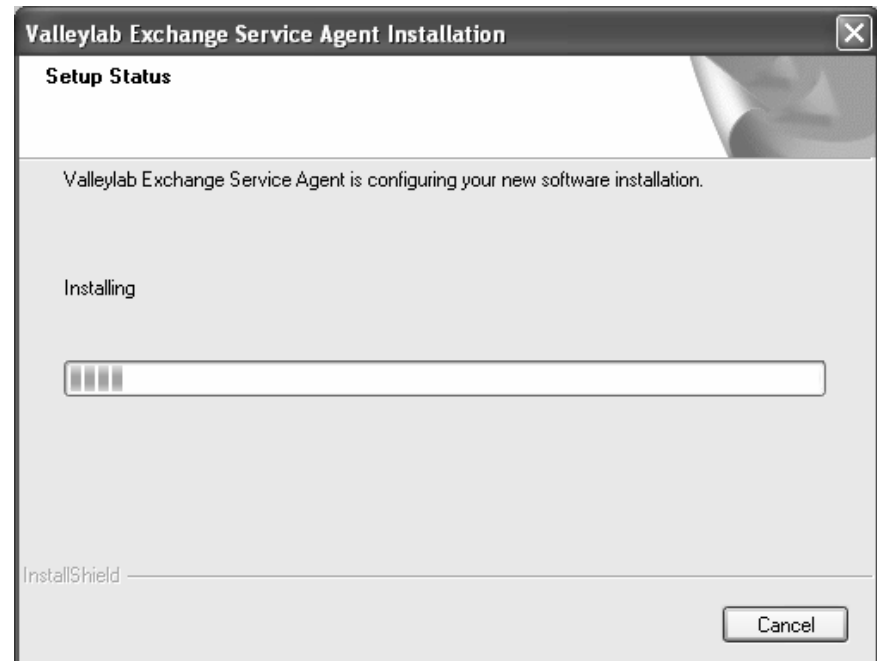
The screenshot shows a dialog box titled "Valleylab Exchange Service Agent Installation" with a close button (X) in the top right corner. The main heading is "NTLM Authentication" with the instruction "Enter NTLM Authentication details." Below this, it says "Provide NTLM Authentication Information". There are three input fields: "Domain:", "User:", and "Password:". At the bottom left, it says "InstallShield". At the bottom right, there are three buttons: "< Back", "Next >", and "Cancel".

Start Copying Files (ファイルコピーの開始)

18. プロキシの選択を設定したら、インストールプロセス中に入力された情報が表示されたレビュー画面が表示されます。その情報を確認して、必要があれば、以前の画面を編集するために **Back** (戻る) をクリックして、変更を加えます。



19. 情報がすべて正しいければ、**Next** (次へ) を選択します。
20. 一連の設定ステータス画面が表示され、インストール先ディレクトリにコピー中のファイルの進捗状況が示されます。すべてのファイルがコピーされると、ウィンドウに構成が進行中であると表示されます。終了するまで動作させたままにしてください。

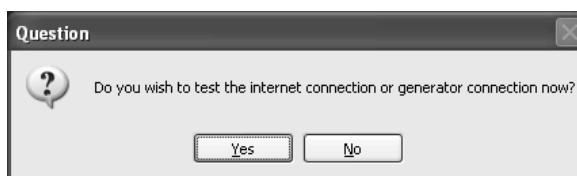


Valleylab Exchange Connection Utility(バリーラブ Exchange 接続ユーティリティ)

サービスエージェントのインストールには、Valleylab Exchange Connection Utility(バリーラブ Exchange 接続ユーティリティ)、すなわちサービスエージェントが使用する以下の接続を確認するための小型アプリケーションが含まれています。

- ・ サービス PC とバリーラブ Exchange サーバーの間のインターネット接続。このテスト機能では、プロキシサーバーの検出、設定入力への支援も可能です。
- ・ サービス PC の RS-232 ポートと ForceTriad エネルギープラットフォームの間のケーブル接続。

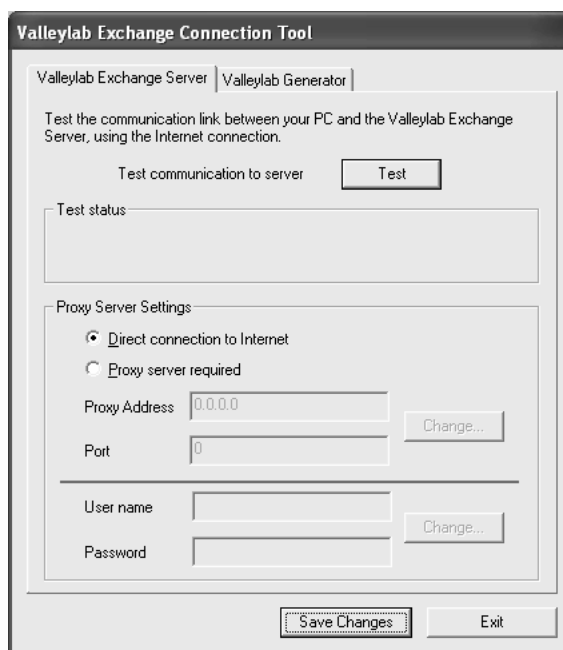
これまでのサービスエージェントインストールダイアログボックスをすべて完了後に、インストールプロセスで、インターネットとハードウェア接続のテストのユーザオプションが示されます。



21. 以下を選択します。

- ・ **Yes**(はい) を選択して、接続をテストするために Valleylab Exchange Connection Utility (バリーラブ Exchange 接続ユーティリティ) へと進みます
- ・ **No**(いいえ) を選択して、ユーティリティをスキップします。
(No(いいえ) を選択した場合は、2-19 ページのサービスエージェントのインストールの最終ステップに進みます)

Yes(はい) を選択すると、Valleylab Exchange Connection Utility(バリーラブ Exchange 接続ユーティリティ) ダイアログボックスが表示されます。



Valleylab Exchange Server (バリーラブ Exchange サーバー) タブ

Valleylab Exchange Connection Tool (バリーラブ Exchange 接続ツール) ダイアログボックスが、デフォルトにより選択された Valleylab Exchange Server (バリーラブ Exchange サーバー) タブと共に表示されます。

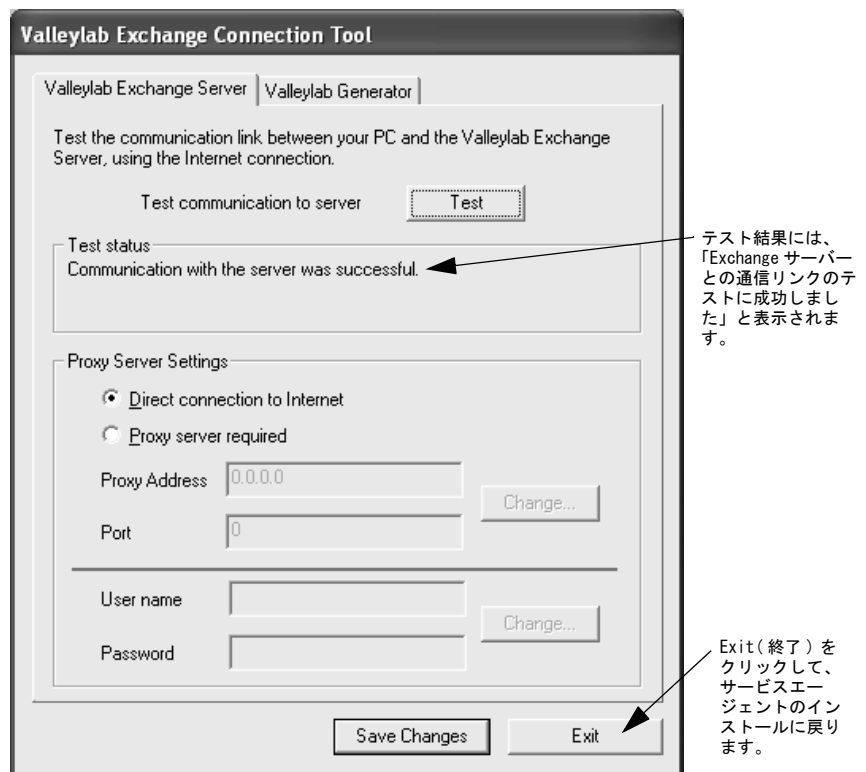
プロキシサーバー設定で選択されたデフォルトのオプションは、これより前のインストール画面に入力されたプロキシ情報により異なります。プロキシサーバーが示されない場合は、このダイアログボックスで *Direct Connection to the Internet* (インターネットへの直接接続) オプションが選択されています。プロキシサーバーが指定されていた場合は、*Proxy server required* (要プロキシサーバー) オプションが選択されており、以前に提供されたアドレスとポート情報が2つのフィールドに表示されます。

22. Test (テスト) をクリックして、サービス PC と選択された設定を使用しているサーバーとの間の接続を確認します。

接続ユーティリティでは、サービス PC のインターネット接続をテストし、そのテスト結果を *Test status* (テストステータス) ボックスに表示します。

テストに成功した場合：

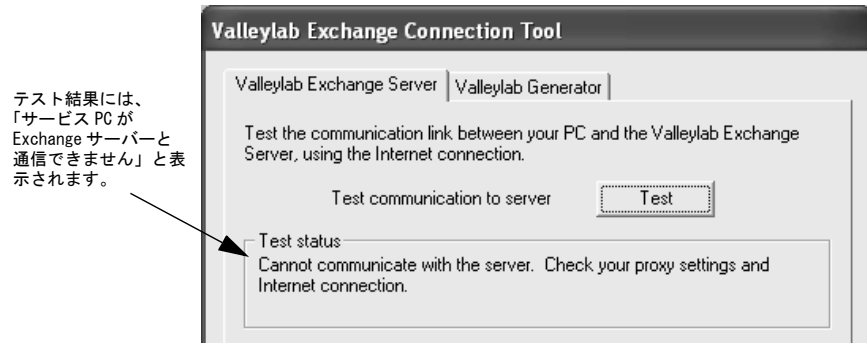
サービス PC が Exchange サーバーと通信できる場合は、以下のメッセージが表示されます。「サーバーとの通信に成功しました」



23. Exit (終了) をクリックして、2-19 ページに示されるようにサービスエージェントのインストールに戻ります。

テストに失敗した場合。

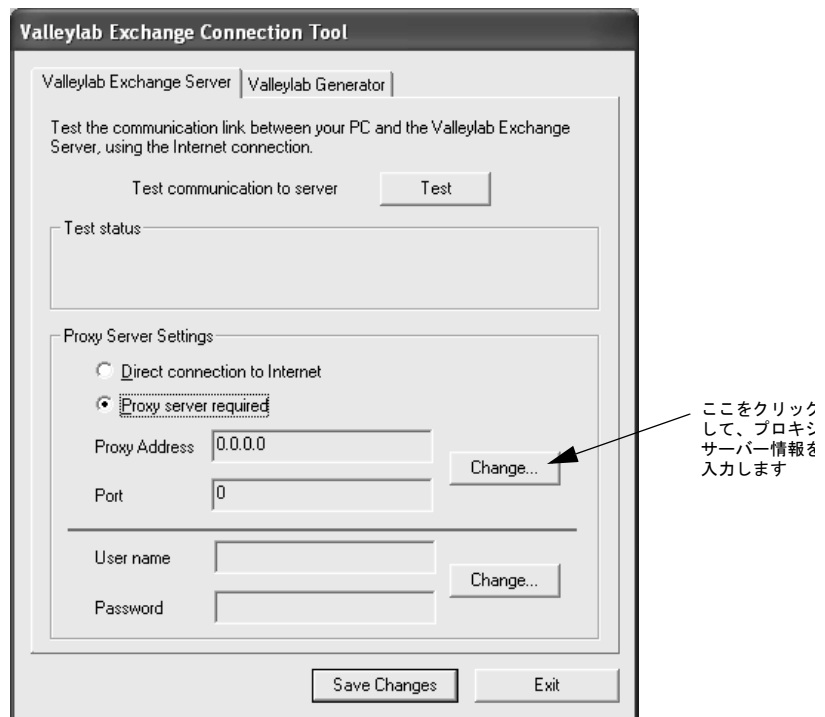
サービス PC が Exchange サーバーと通信できない場合は、以下のメッセージが表示されます。「サーバーと通信できません。プロキシ設定とインターネット接続をご確認ください。」



24. 以下を確認します。

- ・ サービス PC のインターネット接続 - 外部 Web サイトにナビゲートし、インターネット接続を確認します。
- ・ プロキシサーバー - お客様の施設に、インターネットと内部コンピュータやワークステーションとの間のバッファとして機能するプロキシサーバーを置くことが可能です。その場合、Exchange サーバーとの通信を確立するためにプロキシサーバー名や数値アドレスと使用中のポートが必要です。この情報に関しては、お客様の IT 部門またはネットワーク管理者にご相談ください。

25. 既存のプロキシ設定を変更するには、Proxy Address (プロキシアドレス) フィールドと Port (ポート) フィールドの隣にある **Change** (変更) ボタンをクリックします。



以下の画面が表示されます。

The image shows a dialog box titled "Proxy Address". It contains two input fields: "Proxy Address" with the value "0.0.0.0" and "Port" with the value "80". At the bottom, there are "Ok" and "Cancel" buttons.

26. 以下のお客様の施設のプロキシサーバーに関する情報を入力します。

- ・ **Proxy Address (プロキシアドレス)** - 数値アドレスまたはサーバー名のいずれかを入力します。(詳細については、2-8 ページをご参照ください。)
- ・ **Port (ポート)** - プロキシサーバーが使用しているポートの数値を入力します。

27. **OK** をクリックします。

プロキシ認証用の 3 つのオプションと共にダイアログボックスが表示されます。

このオプションには追加情報は一切必要ありません

ユーザ名およびパスワードの入力が求められます

ドメイン、ユーザ名およびパスワードの入力が求められます

The image shows a dialog box titled "Proxy Server Authentication". It has three radio button options under "Authentication Required for Proxy": "No authentication needed" (selected), "Basic/Digest Authentication", and "NTLM Authentication". Below these is a "Credentials" section with three input fields: "Domain", "User Name", and "Password". At the bottom, there are "Ok" and "Cancel" buttons.

28. 以下のプロキシサーバーに必要な認証のタイプを選択します。

- ・ **No authentication needed (認証の要なし)** - これを選択した場合、追加情報は一切必要ありません。
- ・ **Basic/Digest Authentication (基本・ダイジェスト認証)** - User Name (ユーザ名) フィールドおよび Password (パスワード) フィールドにすべて記入する必要があります。ユーザ名とパスワードは認証のために必要になります。
- ・ **NTLM Authentication (NTLM 認証)** - Domain (ドメイン) フィールド、User Name (ユーザ名) フィールドおよび Password (パスワード) フィールドにすべて記入する必要があります。NTLM はチャレンジ・レスポンス認証メカニズムです。

29. **OK** をクリックして、次に進みます。

30. **Test** (テスト) ボタンをクリックして、新しい設定を確認します。

31. テストが成功した場合：

- ・ **Save Changes** (変更を保存) をクリックして、新しい設定を保存します。

テストが成功しなかった場合：

- ・ 入力したアドレス情報とポート情報を確認し、必要があれば変更します。
- ・ プロキシまたは認証設定を変更するたびに、**Test** (テスト) をクリックします。
- ・ テストが失敗し続けるようならば、お客様の IT マネージャまたはネットワーク管理者にご相談いただくか、*Direct Connection to the Internet* (インターネットへの直接接続) オプションをお試しください。もう 1 度 **Test** (テスト) をクリックします。
- ・ テストの成功後に、**Save Changes** (変更を保存) を選択します。

32. 以下のいずれかを行います。

- ・ **Valleylab Generator** (バリーラブジェネレータ) タブをクリックして、ForceTriad ジェネレータとサービス PC の間のハードウェア接続を確認します。

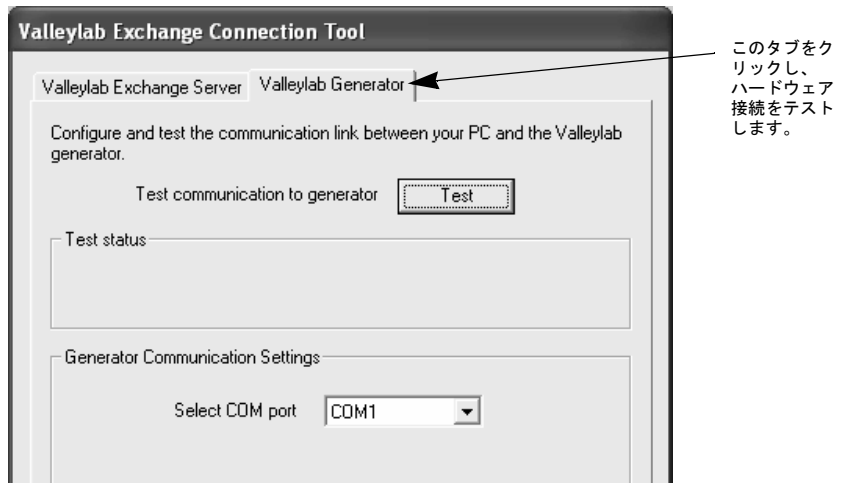
または

- ・ **Exit** (終了) をクリックして、2-19 ページに示されるようにサービスエージェントのインストールの完了に戻ります。

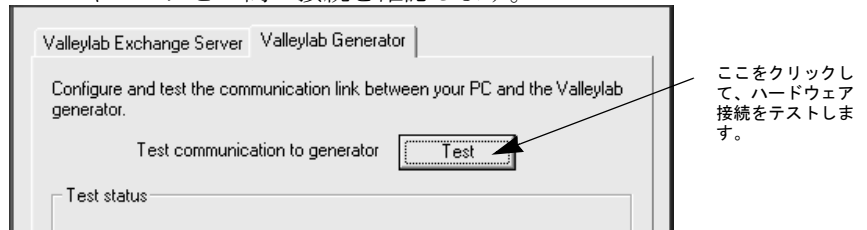
注：Valleylab Exchange Connection Utility (バリーラブ Exchange 接続ユーティリティ) は、Exchange Service Agent インストールの完了後は、いつでもデスクトップに置かれたアイコンから実行できます。

Valleylab Generator (バリーラブジェネレータ) タブ

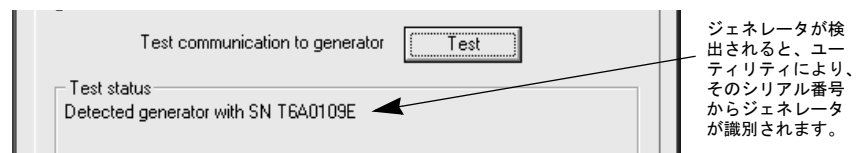
33. サービス PC と ForceTriad の間の接続を確認するには、**Valleylab Generator** (バリーラブジェネレータ) タブをクリックします。
34. サービス PC とジェネレータの両方に ForceTriad が存在し、RS-232 がしっかりと接続されていることを確認します。



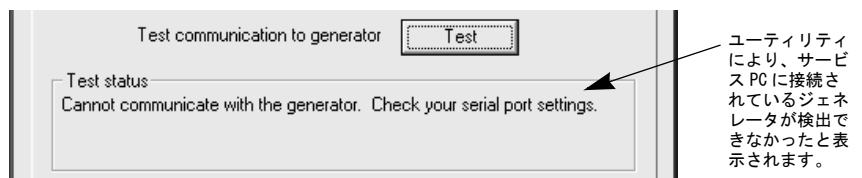
35. **Test** (テスト) ボタンをクリックして、サービス PC と ForceTriad ジェネレータとの間の接続を確認します。



ジェネレータを表示しているダイアログボックスの Test (テスト) ステータスセクションのメッセージに実行可能な接続結果が検出されました。検出されたジェネレータのシリアル番号が表示されます。



ユーティリティがジェネレータを検出できなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。「ジェネレータと通信できません。シリアルポート設定をご確認ください」と Test (テスト) ステータスに表示されます。



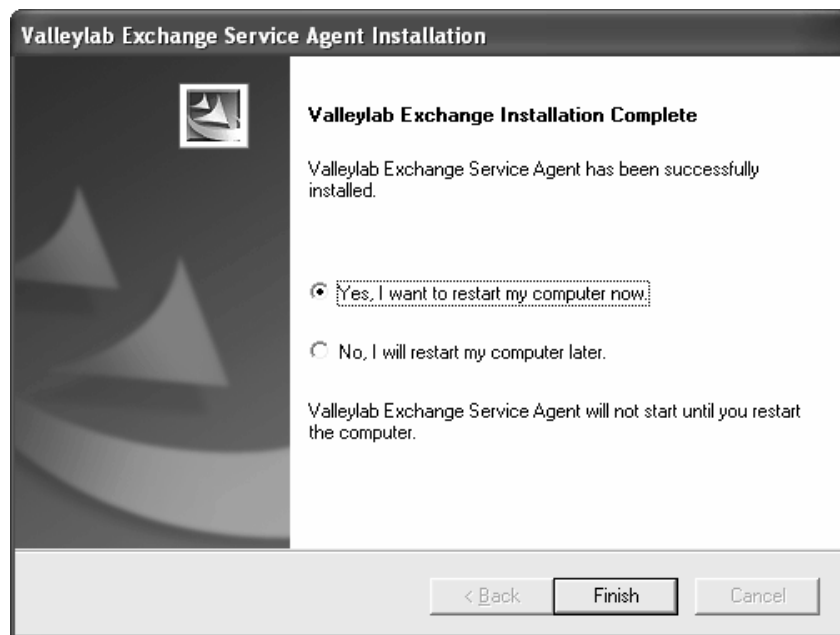
重要

ハードウェア接続テストに失敗した場合は、ジェネレータとコンピュータの RS-232 ポートの両方へのケーブル接続を確認し、テストを再試行してください。ジェネレータの検出の失敗が続くようなら、COM ポート設定を変更して、テストを再試行してください。

Valleylab Exchange Connection Utility (バリーラブ Exchange 接続ユーティリティ) のテストはこれで終了です。ソフトウェアは自動的にバリーラブ Exchange Service Agent のインストールに戻り、プログレスバーにソフトウェアファイルがサービス PC にコピーされたことが表示されます。

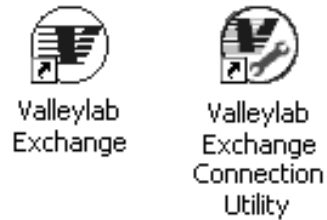
Valleylab Exchange Installation Complete (バリーラブ Exchange インストールの完了)

すべてのファイルがコピーされると、最終画面にインストールが完了したと表示されます。



36. インストールされたソフトウェアコンポーネントが作動するようになる前に、サービス PC を再起動する必要があります。 *Yes, I want to restart my computer now* (はい、今すぐコンピュータを再起動させます) の隣にあるラジオボタンをクリックし、**Finish** (終了) を選択します。

37. コンピュータの再起動後に、インストールされたコンポーネント用のアイコンがコンピュータのデスクトップに表示されます。両方の Exchange。

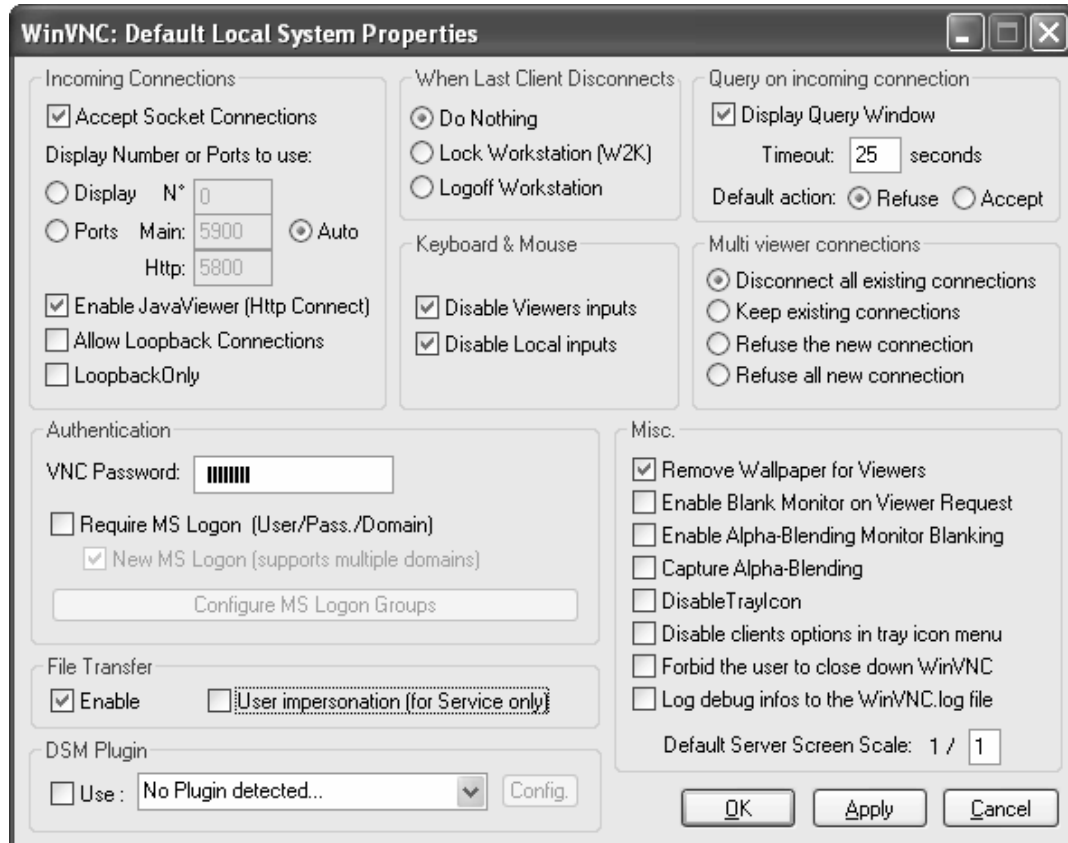


2-4 ページの Select Features (機能選択) ウィンドウで WinVNC のインストールを選択されたユーザ以外は、バリーラブ Exchange Service Agent のインストールが完了します。WinVNC をインストールされた場合は、最終段階を完了するために次のセクションに進みます。

WinVNC のインストールを選択されなかった場合、ForceTriad ソフトウェアの更新はサービス PC からすぐに行えます。

WinVNC (WinVNC) : Default Local System Properties (初期設定のローカルシステムプロパティ)

WinVNC をインストールするオプションが 2-4 ページの Select Features (機能選択) ウィンドウで選択された場合は、コンピュータ再起動後に WinVNC を構成するためにウィンドウが表示されます。



38. 基本構成にするには、上記例でマークが付けられているようにオプションを選択します。

- ・ Incoming Connections (インカミング接続)
 - Accept Socket Connections (ソケット接続の受け入れ) — 選択します (通常の操作に必要)
 - Enable Java Viewer (Http Connect) (Java ビューアを有効にする (Http 接続)) — 選択します
- ・ Authentication (認証)
 - VNC Password (VNC パスワード) — パスワードを入力します
- ・ File Transfer (ファイル転送)
 - Enable (有効にする) — 選択します
- ・ When Last Client Disconnects (最後のクライアントの接続の切断時)
 - Do Nothing (何もしない) — 選択します
- ・ Keyboard & Mouse (キーボード・マウス)
 - Disable Viewers inputs (ビューア入力を無効にする) — 選択します

- Disable Local inputs (ローカル入力を無効にする) — 選択します
- 1Query on incoming connection (インカミング接続の 1 クエリー)
 - Display Query Window (クエリーウィンドウを表示) — 選択します
 選択すると、何者かが VNC を使用しているコンピュータに接続しようとするたびに、サービス PC のユーザにポップアップダイアログボックスで通知されます。ユーザは、ダイアログボックスによって、アクセスを許可するか、拒否するかを選択できます。
 - Timeout (タイムアウト) — 初期設定のアクションが実行されるまでにサービス PC にアクセスするためにあるリクエストが作成される時間から許容される秒数を入力します。
 - Default action (初期設定のアクション) — Refuse (拒否) を選択します
 アクセスのリクエストは、タイムアウトフィールドに表示される指定時間を過ぎるとデフォルトにより拒否されます。
- Multi Viewer Connections (マルチビューア接続)
 - Disconnect all existing connections (既存の接続をすべて切断する) — 選択します
- Misc. (その他)
 - Remove Wallpaper for Viewers (ビューアから壁紙を削除する) — 選択します
 VNC セッション中のネットワークトラフィックを減少させます

39. **Apply** (適用) をクリックします。

40. **OK** をクリックします。

41. こういった構成設定を随時変更するには、Windows のシステムトレイの WinVNC をダブルクリックします。 必要に応じ、設定ウィンドウで設定を変更し、まず **Apply** (適用) をクリックし、次に新しい設定をアクティブにするために **OK** をクリックします。

重要

カスタム WinVNC 設定については、お客様の施設の IT 部門にご相談ください。

バリーラブ Exchange Service Agent のインストールが完了しました。 ForceTriad ソフトウェアの更新は今すぐサービス PC から実行できます。

ForceTriad の更新

本章では、サービス PC にインストールされたバリーラブ Exchange Service Agent を使用している ForceTriad エネルギープラットフォームソフトウェアのインターネット接続を使った更新の段階的な手順を紹介しています。

バリーラブ Exchange System およびバリーラブ Exchange Service Agent ソフトウェアを使うソフトウェアの更新は、基本的なコンピュータスキルと Microsoft Windows ベースの PC についての実用知識があり、画面の指示に従うことができ、RS-232 ケーブルをコンピュータと ForceTriad ジェネレータに接続でき、ソフトウェアの更新を受けるバリーラブの機器についておおむね精通している作業者が実施することを意図しています。

ソフトウェアの更新の中には、更新の完了後にバリーラブ機器の再キャリブレーションを必要とするものがあります。各ソフトウェア更新パッケージと共に提供された情報には、再キャリブレーションが必要かどうか記述されています。再キャリブレーションは、バリーラブが指定した手順とテストインストルメントを使用する有資格者が実施しなければなりません。必要な再キャリブレーションを実施しなかった場合、患者や他の作業者が損傷する可能性があります。

はじめに

Valleylab Exchange Service Agent ソフトウェアにより、サービス PC はインターネットを経由してバリーラブ Exchange サーバーにアクセスして ForceTriad に対しソフトウェアの更新を実行できるようになります。

更新がバリーラブから利用できる場合は、E メール通知は 2-7 ページに表示される Email Addresses (E メールアドレス) ダイアログボックスに連絡先として入力されたアドレスに送信されます。このメッセージには、Customer Account Number (顧客アカウント番号) と Package Key Code (パッケージキーコード) も含まれます。この 2 つのコードは、ソフトウェアの更新をダウンロードするために必要です。

ソフトウェアの更新の中には、更新の完了後にバリーラブ機器の再キャリブレーションを必要とするものがあります。各ソフトウェア更新パッケージと共に提供された情報には、再キャリブレーションが必要かどうか記述されています。再キャリブレーションは、バリーラブが指定した手順とテストインストルメントを使用する有資格者が実施しなければなりません。

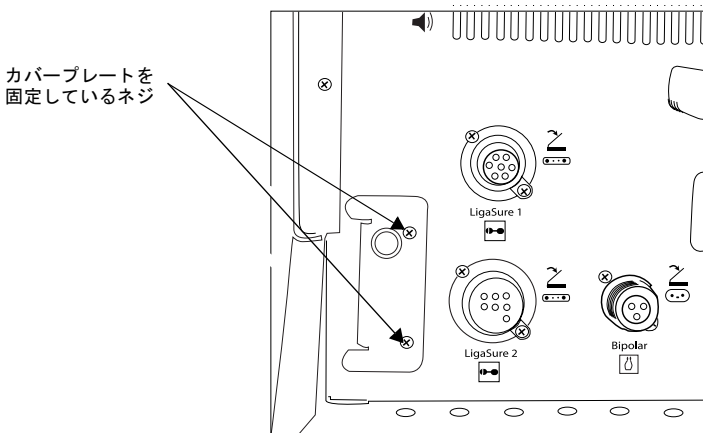
警告

必要な再キャリブレーションを実施しなかった場合、患者や他の作業者が損傷する可能性があります。

ForceTriad エネルギープラットフォームの接続

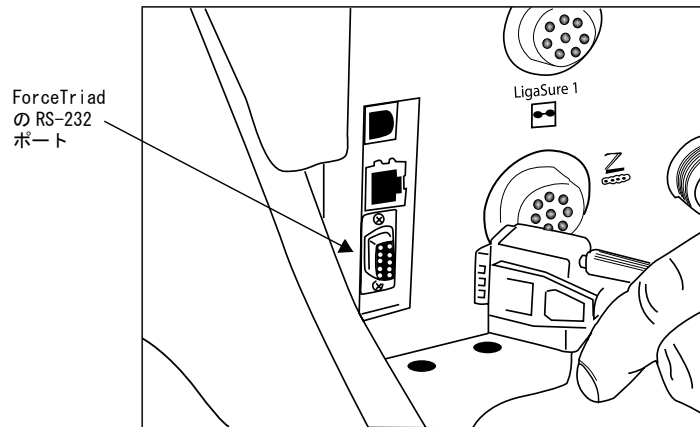
ForceTriad エネルギープラットフォームをサービス PC に接続すると、RS-232 ケーブルでつながれている 2 つのデバイス間の通信が可能になります。

1. ForceTriad エネルギープラットフォームの電源を切ります。
2. ジェネレータの背面パネルの左下隅にあるコネクタカバープレートの場所を探します。

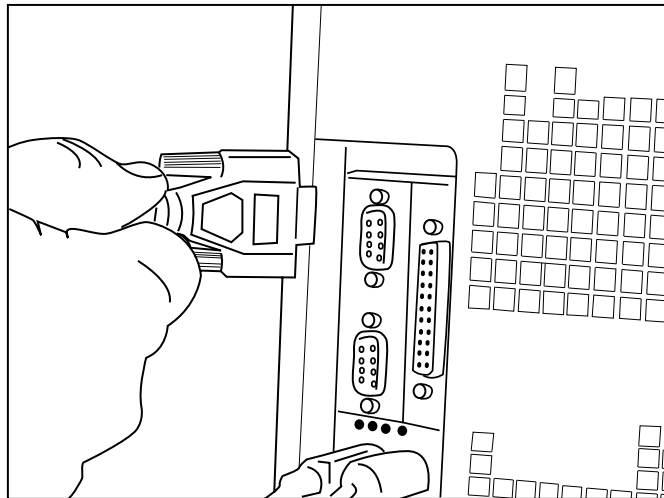


3. プレートを固定している 2 本のネジを取り外します。

- RS-232 コネクタをジェネレータの RS-232 ポートに取り付けます。



- サービス PC で RS-232 レセプタクルの場所を探し、ケーブルを取り付けます。



これで、ForceTriad はサービス PC に接続されました。

ソフトウェアの更新

1. ForceTriad エネルギープラットフォームの電源を入れます。
2. ジェネレータによりスタートアップルーチンが完了されたら、サービス PC のデスクトップにあるバリーラブ Exchange (エクスチェンジ) アイコンをダブルクリックしてバリーラブ Exchange Service Agent ソフトウェアを起動します。



Customer Contact Information (顧客連絡先情報)

最初の画面は、ソフトウェアインストール時に入力された情報を表示している Customer Contact Information (顧客連絡先情報) 画面です。

A screenshot of a software dialog box titled "Customer Contact information". The dialog box contains a message: "Please confirm or update your contact information for the Valleylab Exchange so that you can be notified when Valleylab generator software upgrades are available." Below the message is a form with the following fields:

Company Name *	VLab	Clinical Engineering Manager email address *	ce@ce.com
Address1 *	5920 Longbow	OR Manager email address *	or@or.com
Address2		IT Manager email address	it@it.com
Address3		Risk Management email address	
City *	Boulder	Materials Management email address	
State/Province *	CO	Other email address	
Postal Code *	80301		
Country Code *	US UNITED STATES		

At the bottom left, it says "* is a required field". At the bottom right, there are two buttons: "Save Changes" and "Continue".

3. その情報を更新する必要がなければ、**Continue** (続行) をクリックします。

フィールドが更新されれば、Save Changes (変更を保存) ボタンがハイライトされます。先へ進むには、**Save Changes** (変更を保存) をクリックします。

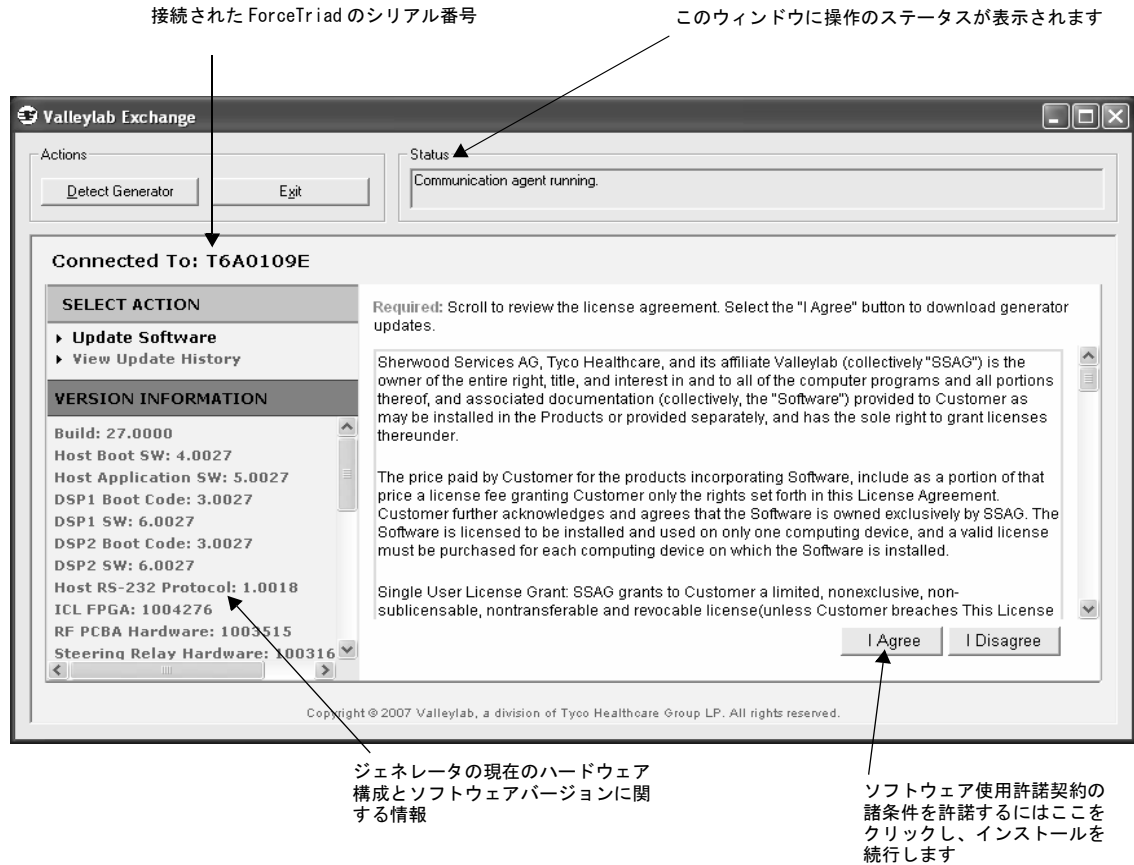
Valleylab Exchange Window(バリーラブ Exchange ウィンドウ)

バリーラブ Exchange Service Agent により、接続された ForceTriad のシリアル番号が検索されます。検索操作のステータスが次のウィンドウの Status(ステータス)ボックスに表示されます。



ソフトウェア使用許諾契約

バリーラブ Exchange のコミュニケーションエージェントが、ウィンドウの Status (ステータス) ボックスに表示されているように自動的に開始します。同じ画面に、先に進むためにお読みいただき許諾していただく必要があるソフトウェアの使用許諾契約が表示されます。

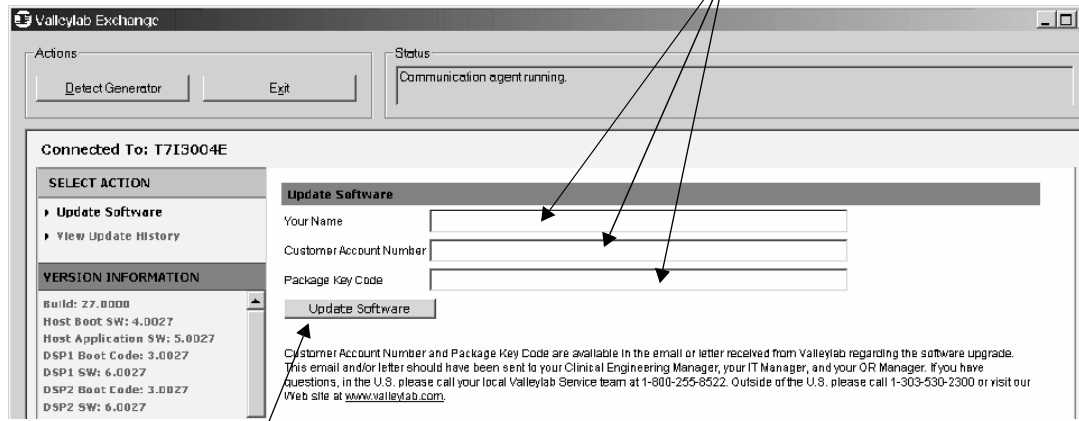


- ソフトウェア使用許諾契約の諸条件を許諾するには **I Agree** (同意します) をクリックします。

Update Software (ソフトウェアの更新)

Update Software (ソフトウェア更新) 画面が表示されます。

バリーラブからの通知 E メールに提供される情報に正確に従って 3 つのフィールドを完成させます



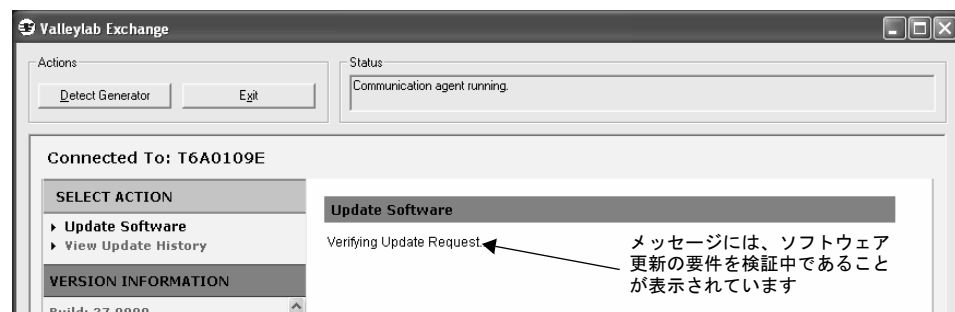
ソフトウェアの更新を開始するにはここをクリックします

5. 3 つのフィールドを完了します。

Your Name (名前) フィールドに入力された名前は Update History (更新履歴) ファイルのみに使用されます。どのような名前でも結構です。Customer Account Number (顧客アカウント番号) と Package Key Code (パッケージキーコード) に入力する情報は、お客様の組織に利用可能なソフトウェア更新をお知らせする E メールに記載されています。フィールドでは大文字と小文字が区別されています。通知 E メールに表示されているとおりに正確にコード情報を入力します。

6. Update Software (ソフトウェアの更新) をクリックします。

次のソフトウェアを更新画面には、ソフトウェアの更新のために送信された情報の要件が検証中であることが表示されます。

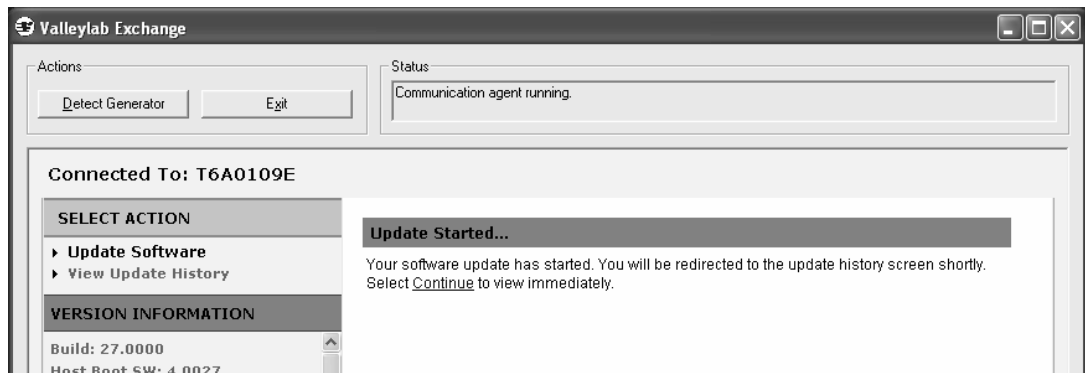


重要


更新プロセスが中断された場合は、エラーボックスが表示されます。ジェネレータやサービス PC と RS-232 ケーブルとの接続を確認します。デバイス間の通信が回復すると、3-7 ページに示されているように、Update Software (ソフトウェアを更新) 画面で更新プロセスを最初からやり直します。

View Update History (更新履歴の表示)

更新の開始を示すために Update Started (更新開始) 画面が表示され、すぐにその画面が更新履歴画面にリダイレクトされます。




View Update History (更新履歴の表示) 画面が表示され、以前の更新の情報と進行中の更新についての情報が示されます。ダウンロードが開始されれば、現在のダウンロードに関する情報が表示されます。Status (ステータス) フィールドが Downloading (ダウンロード中) へと変化し、円形矢印が回転して進行中のダウンロードアクティビティを示します。

View Update History					
<input type="checkbox"/>	Device Name	Package ID	Status	Install Date/Time	User Name
<input type="checkbox"/>	T6A0109E	3456789	Downloading 		Geo

ForceTriad シリアル番号
 インストール中のソフトウェアパッケージ
 更新のステータス
 回転中の矢印によりダウンロードアクティビティが表示されます
 更新の時間 (完了時)
 ユーザが実行中の更新名

パッケージがダウンロードされたら、Status (ステータス) が Installing (インストール中) に変化します。

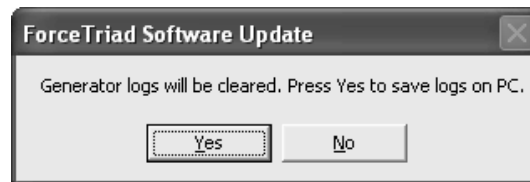
View Update History					
<input type="checkbox"/>	Device Name	Package ID	Status	Install Date/Time	User Name
<input type="checkbox"/>	T6A0109E	3456789	Installing 		Geo

ダウンロード完了後にステータス変化します

注

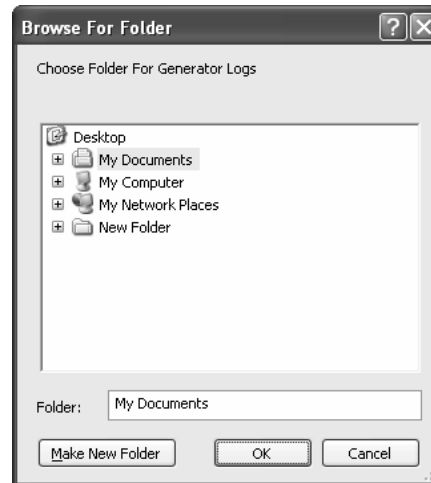
ForceTriad への更新のインストール中、特定のエラーコードで生物医学に連絡を取るようというメッセージ画面が表示される可能性があります。このメッセージ画面はソフトウェア更新プロセスの一部なので、このメッセージスクリーンには応答しないでください。

ソフトウェア更新の実行中に、ジェネレータ上の既存のエラーおよびイベントログが削除されます。ジェネレータのログファイルをクリアする前に、ダイアログボックスによりサービス PC にログを保存するよう表示されます。

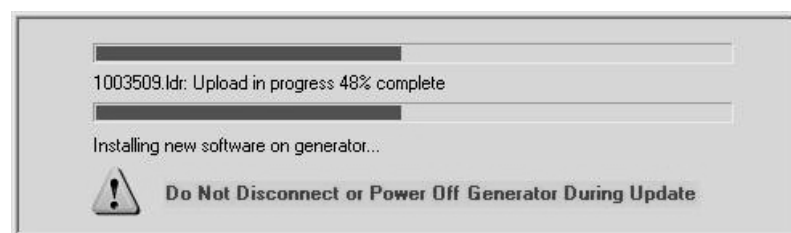


7. サービス PC にこのログファイルを保存するために **Yes** (はい) をクリックするか、または保存せずに削除するために **No** (いいえ) をクリックします。
8. **No** (いいえ) を選択された場合は、このステップは飛ばしてください。

Yes (はい) を選択された場合、ログファイルが保存されるフォルダを指定するために、Browse for Folder (フォルダの参照) ウィンドウが表示されます。



フォルダを作成するか、希望の既存のフォルダを参照して、**OK** をクリックします。ファイルが指定されたディレクトリに保存されます。さまざまなプログレスバーによりソフトウェア更新の進行状況が表示されます。



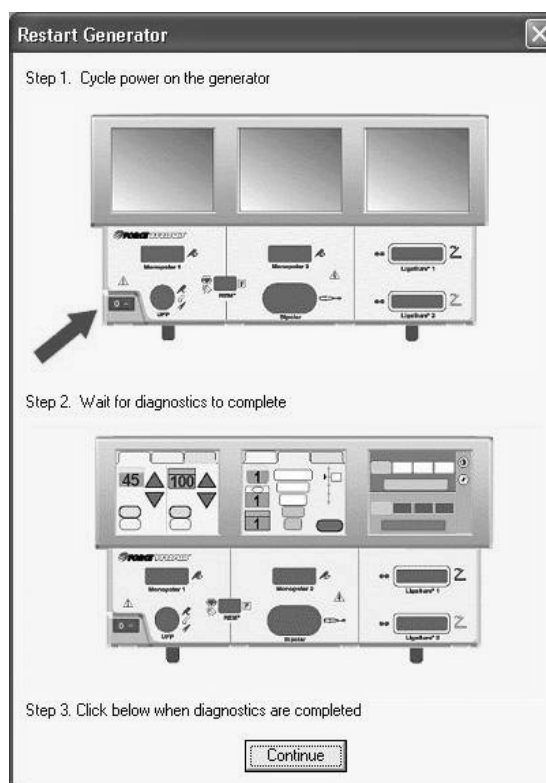
注

ForceTriad エネルギープラットフォームの更新中は電源を切らないでください。ジェネレータが損傷する恐れがあります。

更新中はジェネレータをご使用にならないでください。

Restart Generator (ジェネレータの再起動)

更新が完了したら、ForceTriad の再起動が必要であることを示すメッセージが表示されます。



重要

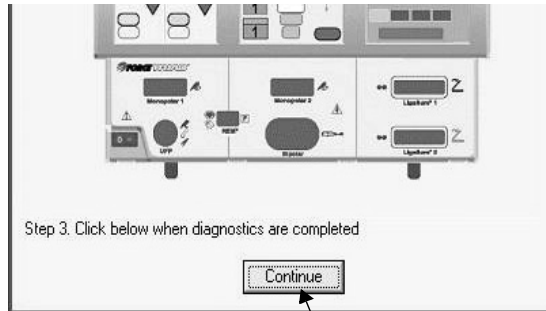
ForceTriad の出力の循環が完了するまでは、このメッセージの **Continue** (続行) をクリックしないでください。

ソフトウェアの更新は、接続された ForceTriad の電源を切って、再起動するまで完了しません。

シャットダウン・再起動プロセスの間は、ジェネレータまたはサービス PC から RS-232 ケーブルを取り外さないようにしてください。

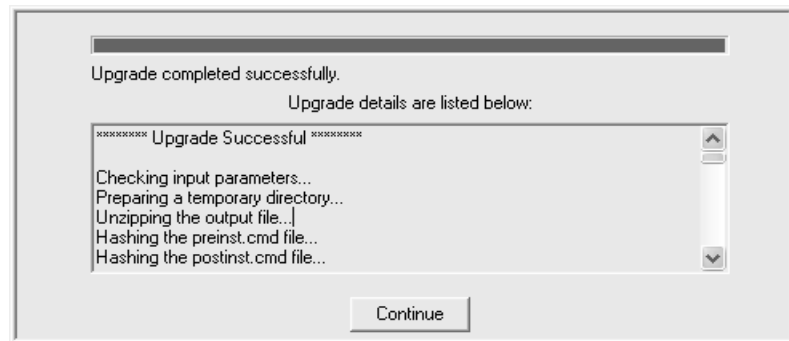
9. ウィンドウに表示されるように、ForceTriad エネルギープラットフォームの電源を切り、ジェネレータの電源が切れるようにして、少なくとも 20 秒間は電源を切ったままにし、次にもう一度電源を入れてください。

10. ForceTriad が診断ルーチンを一旦完了してから、**Continue**（続行）をクリックします。



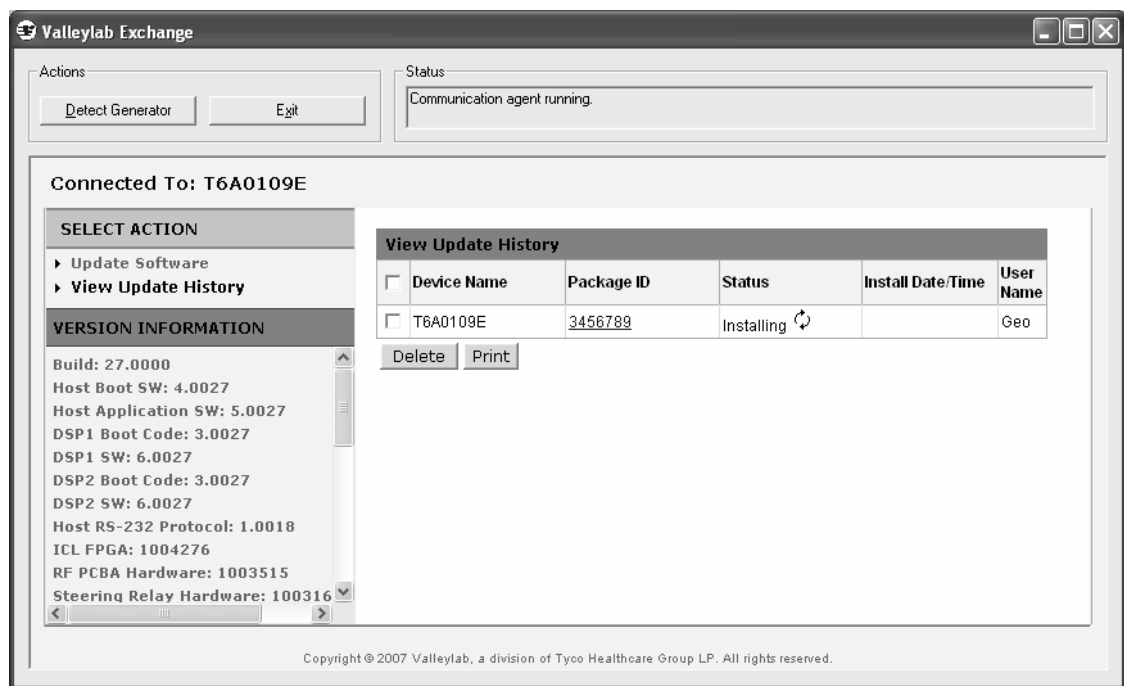
診断ルーチンが完了して
からクリックします

更新が完了すると、以下のウィンドウが表示されます



11. 更新プロセスを完了するために **Continue**（続行）をクリックします。

Installing(インストール中)であることを示す Status(ステータス)フィールドと更新が完了するまで回転し続ける円形矢印と共に以下のウィンドウが表示されます。



View Update History(更新履歴の表示)

View Update History(更新履歴の表示)ウィンドウが表示されます。

更新が完了すると、Status(ステータス)が Install Completed(インストール完了)に変わります。更新完了日時が、Install Date/Time(インストール日時)フィールドに取り込まれます。

ForceTriadのソフトウェア更新が完了しました。

以下のうちのいずれかが可能になります。

- a. 他のForceTriadジェネレータ上で同じソフトウェアの更新を実行する。(以下のセクションに進みます。ForceTriadの追加更新の実行。)
- b. Exit(終了)をクリックして、Exchange Service Agentを閉じます。コンピュータおよびForceTriadからRS-232ケーブルを取り外します。

バリーラブExchange Service Agentソフトウェアを終了するには、ここをクリックします

チェックボックスは、更新履歴をリストから削除するか印刷するかを選択するためのものです

ボタンを選択して、選択され、チェックマークを付けられた履歴すべてについてアクションを実行します

ステータスには、インストール完了と表示されます

インストール日時は完了後に追加されます

Device Name	Package ID	Status	Install Date/Time	User Name
<input type="checkbox"/> T713004E	REB_DSP1	InstallCompleted	05-02-2007 05:53	Rick

Copyright © 2007 Valleylab, a division of Tyco Healthcare Group LP. All rights reserved.

重要

更新履歴の隣のチェックボックスは、2つの使用可能なボタンを使って更新を削除するか印刷するかを選択するために使用されます。

ForceTriad の追加更新の実行

別の ForceTriad エネルギープラットフォームでソフトウェアを更新するには：

1. 更新が完了した ForceTriad から RS-232 ケーブルを取り外します。
2. 3-2 ページの ForceTriad エネルギープラットフォームの接続 セクションで説明されているとおりにジェネレータを接続します。
3. **Detect Generator** (ジェネレータを検出) をクリックします。
4. ジェネレータがいったん検出されれば、3-5 ページのバリーラブ Exchange ウィンドウに進み、残りの更新ステップを完了します。

トラブルシューティング

本章では、バリーラブ Exchange Service Agent のインストールや使用における一般的な問題の解決に対する提案を行っています。

以下の表には、サービスに起因する一般的な問題と、考えられる原因が一覧化されています。バリーラブのサービス部門にお電話いただく前にこの表をご確認ください。

問題	考えられる原因	推奨対処法
Service Agent のインストール CD が自動起動しません	<ul style="list-style-type: none"> サービス PC が CD を自動実行するように構成されていません CD がドライブに適切にセットされていません 破損した Service Agent CD CD ドライブの誤動作 	<ul style="list-style-type: none"> マイコンピュータの CD ドライブアイコンをダブルクリックし、setup.exe(setup.exe) をダブルクリックして起動を試みます CD ドライブを開けて、CD を取り出します。ちゃんとセットされていることを確認して CD をもう一度挿入し、ドライブを閉じます 別のコンピュータに Service Agent CD を入れてみます
Mac コンピュータにソフトウェアがインストールできません	<ul style="list-style-type: none"> バリーラブ Exchange Service Agent ソフトウェアは Mac 製品との互換性がありません 	<ul style="list-style-type: none"> Exchange ソフトウェアを IBM 互換コンピュータにインストールします
コンピュータが、ForceTriad エネルギープラットフォームの位置を指定するのに非常に時間がかかります	<ul style="list-style-type: none"> 多数のバージョンがジェネレータとエンタープライズサーバーの間で実行されています 頻繁なインターネットの利用 	<ul style="list-style-type: none"> プロセスを完了するための時間を十分に取るようにします Service Agent を処理スピードの速い PC にインストールします インターネットのトラフィックが低速な場合は更新を実行します
Agent ソフトウェアが ForceTriad エネルギープラットフォームの位置を指定できません	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 ケーブルがジェネレータやコンピュータにうまく接続されません 	<ul style="list-style-type: none"> ジェネレータがプラグインされており、電源が入っていることを確認します RS-232 ケーブル接続をチェックします
エラーコード 274 が出るか、ジェネレータがソフトウェア更新に続く初期起動でセルフテストに失敗します	<ul style="list-style-type: none"> ジェネレータに較正が必要です 	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア更新後にジェネレータを再較正します バリーラブサービスまでご連絡ください

問題	考えられる原因	推奨対処法
Service Agent インストール後にインターネットに接続できません	<ul style="list-style-type: none"> Exchange Service Agent がプロキシサーバー用に適切に構成されていません 	<ul style="list-style-type: none"> Valleylab Connection Utility (バリーラブ接続ユーティリティ) を開始します。>Valleylab Exchange Server (バリーラブ Exchange サーバー) タブから、第1回目のテストで使用されていないプロキシオプションを選択します。新しく選択したものを使ってテストを実行します。プロキシサーバー設定の支援については 2-8 ページをご参照ください。 サービス PC のインターネット接続を確認します 別のコンピュータをサービス PC として使ってみてください
ジェネレータをコンピュータから取り外すと、ソフトウェアによりジェネレータを再接続するようメッセージが表示されます	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア更新の確認がエンタープライズサーバーによって完了される前に、ジェネレータがサービス PC から取り外されました 	<ul style="list-style-type: none"> ジェネレータをサービス PC に接続し、ソフトウェアの確認を完了するために ForceTriad エネルギープラットフォームの電源を一旦切つてすぐに入れ直します
ソフトウェアの更新に失敗します	<ul style="list-style-type: none"> 無効な Customer Account Number (顧客アカウント番号) 無効な Package Key Code (パッケージキーコード) 無効なジェネレータ設定 サービス PC がインターネットにアクセスできません 更新パッケージがエンタープライズサーバーで期限切れとなりました 更新パッケージが Service Agent で期限切れとなりました ジェネレータの不具合により、ソフトウェアの更新ができません ジェネレータに断続的な通信の不具合があります 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客 Customer Account Number (アカウント番号) を確認します 更新通知から Package Key Code (パッケージキーコード) を確認します RS-232 の接続を確認します バリーラブサービスまでご連絡ください

問題が解決しない場合は、バリーラブサービスまでご連絡ください。

バリーラブサービス	
米国国内	1-800-255-8522
米国国外	1-303-530-2300
Web ページ	www.valleylab.com

